ROTARY INTERNATIONAL 2720



玉名ロータリークラブ週報

2017 2018



イアン H.S.ライズリー 地区ガバナー 永 \blacksquare 壮

永 博 邉 太 朗

例会日■毎週木曜日/PM12:30~13:30

例会場■〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 50-1 司ロイヤルホテル内

TEL(0968)73-8888 FAX(0968)73-8008

事務所■〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 540-1-102

TEL(0968)73-3399 FAX(0968)74-3939

平成 30 年 3 月 8 日 No.2379

玉名RCメールアドレス jimu@tamanarc.org ホームページ http://www.tamanarc.org/

【来訪者紹介】

〇玉名市空手道連盟 吉永孝会長様

玉名市空手道連盟の吉永でございます。日頃度重なる ご支援を賜りましてありがとうございます。ご案内を ひとつさせていただきます。4月8日の日曜日に玉名 ロータリークラブ杯空手大会を実施致します。昨年は 桃田の体育館が工事のためできませんでした。参加選 手は250名ほど、幼稚園年少さんから高校生まで。毎 年恒例になってきてますこの大会に向けて選手達は練 習に励んでおります。応援する方々のご支援が力にな りますので、さらなるご協力をどうぞよろしくお願い 致します。



【 第 28 回玉名ロータリークラブ杯少年少女親善空手道錬成大会 】 4月8日(日)、午前9時開会(午前8時開場) 玉名市総合体育館メインアリーナ

【会長の時間】 吉永会長

先週大石さんからも話がありましたが 2014 年 10 月 RI 理事会は 3 月を「水と衛生月間」としました。

- ●安全な水の提供
- ●衛生設備や衛生状況の改善
- ●持続可能な水設備と衛生設備の設置
- ●資金調達
- ●維持管理を地域住民が行っていくための能力向上
- ●安全な水と衛生の重要性について、地域住民の認識を高めるためのプログラム支援



水と衛生に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間でもあります。今世界では衛生的なトイレや水設備を利用できない人が 25 億人いると言われています。また衛生設備や安全な水の欠如が原因となり、毎日 1400 人の子供が命を落とし、きれいな水を利用できない人は 7 億 4800 万人いるといいます。

国際ロータリーはこの「水と衛生」の問題を重点分野と位置づけ、世界中の人々に水質の改善・安全な飲用水の提供を呼びかけています。水と衛生の問題は単なる「綺麗な飲料水」というだけではありません。これらのことは「母子の健康」の問題や「疾病予防」にも役立ちますし、「基本的教育と識字率向上」にも寄与するのです。

ロータリー が定めた「6 つの重点分野」

- ●平和と紛争予防/紛争解決
- 水と衛生
- 基本的教育と識字率向上
- 疾病予防と治療
- 母子の健康
- 経済と地域社会の発展

これらは相互に結びついており、最終的にこれらが戦略計画に示された「ロータリーの使命」「ロータリーのビジョン」に繋がっていくのです。タイの都市圏の水道水は飲料可能な水なのですが、途中の水道設備、貯水タンクの清掃ができていないそうで、飲めない水になるそうです。また浄化槽設備はほとんどないので汚水は川へ流れ、土壌が汚染されます、地下水も汚染されます。飲み水はミネラルウォーターを買うより方法がありませんが、田舎の低所得者は買うお金がありません。

今回玉名ロータリークラブで行った自転車贈呈プロジェクトは、通学時間の短縮により勉強時間を確保し、勉学に励み良い教育ができると考えています。自転車贈呈プロジェクト、本の贈呈では迎えてくれた子供達の笑顔、地域の方々のおもてなし、この感動が「ロータリアンで良かったなあ」というロータリーモーメントになっていくと思います。

今回の海外奉仕プロジェクトでは、浄水器設置支援プロジェクトもあります。田舎の学校、公民館などに 小屋を建て、日本製の浄水器を設置し、現地の方にメンテナンスの教育を行うものです。できるなら、今 後もこのような海外奉仕事業を続けていきたいと思います。 ◆浄水器設置支援プロジェクト

汚染された飲み水の問題に直面しているタイの田舎の学校へ浄水器を設置し、継続したメンテナンスを行うことで、地域社会の衛生環境、及び経済の発展を助け、母子の健康を守る事を目的とします。 設置を希望する学校からアンケートを集め、水質検査を行った上で支援校を選定します。支援クラブと弊クラブにて浄水器を用意し、支援校へ設置を行います。 浄水器委員会主導で水質検査を行い、説置を希望する学校は浄水器を説置するための小屋(屋根と土台)を作ります。 説置を希望する学校は説置業者による浄水器の取り扱いとメンテナンスの方法を適任者へ訓練します。

【費用】

日本製浄水器: 64,200 バーツ (およそ 21.6 万円)

【幹事報告】渡邉幹事

○計報 国際R第2720地区、1986~87年度ガバナー 姫野陸喜様(大分中央RC名誉会員)が2018年3月 5日逝去されました。(享年95歳)

通夜 3月6(火)午後6時

葬儀 3月7(水)午後1時

お別れ会3月8日(木)午前10時~午後4時

場所 セレモニーホール わくや おおざい

〒870-0252 大分市大在浜 2 丁目 2-5

TEL 097-592-6611

喪主 ご令息 姫野清高様

○くにさき RC より、幹事交替および事務所移転のお知らせが来ています。

新幹事 高橋とし子氏 新事務局 〒873-0222 大分県国東市安岐町下山口 58

特別養護老人ホーム 鈴鳴荘内

TEL 0968-67-2626 FAX 0978-67-3181

- ○熊本県環境生活部県民生活局くらしの安全推進課より、「のびのびユースネットくまもと~青少年くまもと第 79 号~」についてが来ています。
- ○毎日第1日曜日は、「家庭の日」啓発ポスターの送付について(依頼)が来ています。



【委員会報告】小山委員長

国際奉仕委員会よりご報告致します。先月2月26日 タイ国ソンクラー県ハジャイにて自転車・図書・浄水 器の贈呈式に参加してまいりました。

贈呈式には日本よりロータリークラブ 5 クラブが参加 玉名 RC は自転車と図書を贈呈してまいりました。会 場の baan kampangpetch school にて地元郡の高官、 学校教育庁からの来賓を交えて大勢の方々が集まりま した。今回心温まる歓迎を受け、またセレモニーも盛 大に行われ、子供達の喜ぶ姿を目前に見れました。 地元の方々の感謝の気持ちも心より伝わってくる大変 素晴らしい式典でした。当クラブの今回の国際奉仕プ ロジェクトは大変意味のあるものと考え、今後も継続 事業として行うべきと考えます。























【スマイル報告】吉田委員長

吉永会長・渡邉幹事・・・玉名市空手同連盟吉永孝様のご来訪心から歓迎致します。 品川会員・吉田彰男会員卓話、ありがとうございます。

品川会員・吉田彰男会員・・・本日の卓話、つたないものですがよろしくお願いします。

山田邦さん・・・品川様、吉田彰様両名の「私の履歴書」を楽しみにしています。

中嶋さん・・・・玉名市空手同連盟吉永孝様のご来訪心から歓迎致します。

品川会員・吉田彰男会員卓話、ありがとうございます。

先日は欠席しましてソーリーです。

本田さん・・・雨で予定が変わって早退します。

田畑さん・堀本さん・松﨑さん・吉岡さん・山田司さん・深見さん・井上さん・坂梨さん

鶴田さん・高木幸さん・小山さん・・・玉名市空手同連盟吉永孝様のご来訪心から歓迎致します。

品川会員・吉田彰男会員「私の履歴書」楽しみにしています。

古賀さん・・・欠席します。申し訳ありません。

前回までの累計 ¥668,000 今 回 ¥ 20,000 合 計 ¥688,000

【出席報告】鶴田副委員長

本日の出席	会員数	52(47)名	欠席者	嫩 福田 浜田 廣田 古賀 宮本 村田 前島 野田 志賀 杉谷
	出席数	29 名		田原 田中 瀧川 浦田 上村上田継 山村
	出席率	61.70%		
前回の出席	前回出席数	32 名	前回のメークアップ	中嶋 小関 小山
	修正出席数	35 名		
	修正出席率	71.49%		
出席規定適用免除者		7	7名	

【今後のプログラム予定】

3月15日(木) ローターアクト担当委員会企画 堀本武司委員長

【卓話】

◎品川真輝会員 「私の履歴書」

品川です、玉名市山田にて「スローフードの店品川」を経営しております。よろしくお願い致します。私は小学生の頃から将棋が好きでした。近所のおっちゃんとよく縁側で指してまして、日曜日のNHK杯の将棋番組を観ながら、同じ手を指すのがとても楽しみでした。

あと小学生の頃、書道、剣道、スイミング、バスケット 中学からは剣道、野球、といった具合で社会人になって から少しゴルフをかじってます。



最近ではうちの牧場跡地でチーム砂銃というチームが、

サバイバルゲームを毎週日曜日行なってまして、少し興味が出始めてるところです。

れから私、吉田松陰先生のお言葉に感銘を受けまして、座右の銘も、「志を立ててもって万事の源となす」という言葉に奮い立つ想いを感じます。家族構成は、祖父、父、母、妻、長女、次女、三女の8人家族で、祖父は大正7年産まれで今年100歳を迎えました。余談ではございますが、平成13年頃でしたか、当時立願寺築地線の築山小学校の前の境川にかかる橋の渡り初めの儀式の際、橋の安全祈願として親子三代夫婦渡り初めにでた記憶があります。これは私を含め、父、母、祖父、祖母が揃っていたので、拝命できたことでして貴重な体験を致しました。

また山田地方には、遡ること 1300 年と言われてますが、白山さんという神様を山田日吉神社に祀ってあります。この白山さんを十二坊と呼ばれる 12 体の石碑でお守りしている形があるのですが、そのうちの1つ、サイリンボウさんを代々品川家で祀って来た経緯があります。今でも疋野神社からのご協力を頂き、11月29日に儀式を執り行います。その際は12坊が一堂に会すことになりますが、残念なことに今では9件にまで減少し、この先も祀っていく家が減少することになりかねないと危惧されています。

それから平成 17 年頃でしょうか。あるきっかけで私を中心とした家系図を作ることになりました。いざ、取り掛かってみると、私からして父母、祖父祖母と 4 系統、プラス妻の里方 4 系統。合計 8 系統の戸籍の取り寄せにはかなり時間を費やしました。足掛け 2 年でやっと完成したんですが、その頃で紙媒体での保管の上限もあり、最古の戸籍は江戸時代の文政 7 年(1818~1831)、2 月 3 日出生坂口モカでした。残念なことにこの先はもう遡れません。私はこの時点での家系図を作って、成し遂げた達成感を感じることは出来ましたが、遡れなかった無念さも残ります。そういった意味では、自分を証明する手段としてルーツを探るこの家系図の作成は、ぜひ皆さんにおすすめしたいと思います。

簡単に時系列で私の履歴を述べさせて頂きます。1973 年 8 月 17 日、玉名市山田で朝方産声をあげました。築山小学校へ4年間通い、両親が石貫で酪農を営んでおりましたので、5 年生から石貫小学校に転校致しました。そして玉陵中学校、熊本農業高等学校を卒業致しました。その後料理の世界に入り、名古屋、福岡、熊本と修行を重ね、平成11年に結婚。12年長女出生、13年次女出生、14年の11月スローフードの店品川開店し現在に至ります。仕事上の活動としては、現在玉名飲食業衛生同業組合を預かってます。また玉名新幹線開業にむけて、飲食店が集まってできたキズナメシというグループに所属し、料理人としての研鑽も行っております。それから仕事外活動としては、玉名市子供会連合会で理事を6期務め、子供会行事を手伝って参りました。また玉名商工会議所青年部に所属しており、平成26年度、熊本県商工会議所青年部連合会会長を経験しております。

ここで店名のミドルネームであるスローフードについて少し触れたいと思います。「スローフード」とは、イタリアで提唱された、環境、健康を害さない多様性に富んだ地域の食物、またそれらを見直そうという運動です。1986年イタリア北西部のピエモンテ州ブラで、ファーストフード fast food による食の画ー化に対する危機感を背景に、食材選び、調理法、食べ方について本来の自然な姿に立ち戻ろうという運動が起こりました。1989年には非営利組織 NPO のスローフード協会 Slow Food International が設立、初の国際大会がパリで開かれ、15 ヵ国の代表によってスローフード宣言が採択され、国際運動へと発展します。絶滅に瀕した動植物や、伝統的な食文化、農法など、食を取り巻く生態系の多様性を守り、味覚教育(食育)を推進し、消費者を共生産者ととらえ有機農業や小規模経営を行なう生産者を積極的に支援

することで、環境に配慮しながら食の喜びを取り戻すことを目的とします (→エコロジー)。日本では 2004 年、スローフードジャパンが発足しました。

ここででてきましたイタリアでの提唱というところですが小話が 1 つありまして、というのがオードリーへプバーン主演、映画『ローマの休日』にでてきたスペイン広場、シャネルがある通りがあります。一躍有名になったこの場所はイタリア人にとっては誇り高きものだったらしいです。その目の前に、大手ハンバーガーショップ、エムドナルドができたそうで、それに反発したイタリア人が対抗してスローフード運動がおきたという不確かな話があります。

私の持論ではありますがこれらの内容と別に、『食卓を囲む時間の大切さ』というのも付け加えたいと考えております。古きよき時代の農家の食卓とは家長制度が残る農家で育った私にとっては、まさにスローフードの概念そのものでありました。ばぁちゃん達が育てあげた野菜等がそのまま食卓に並んでました。少なすぎず、かといって作りすぎず、1年を通しての食材の生産、管理、保全、その恵を食卓で感謝しながらいただく、露地栽培で育った旬の野菜は人間の身体に1番いいそうです。医食同源という言葉もありますが食事の根本的なところだと思います。

これらのことに加え食卓では躾もされてきました。神道では、『教育は食卓から』という教えがあると伺いました。生きていく上で必要な教育は食卓の中に詰まっているそうです。なるほど確かに共感するところがあります。つまり日本の独自のスローフードとはこの時代の食の在り方を伝え、魂の継承を行っていく事こそに重きを置かなくてはと考えます。以上の事を踏まえ在りたい姿を念に込めて、店名にスローフードというミドルネームを取り入れた次第です。

私はこの玉名ロータリークラブの末席に加えて頂いたことに深く感謝し、先輩方の助言、指導を頂きながら、仕事を成熟させつつ豊かな人生を送るためにも、このロータリークラブで成長し、少しでも周りの関係者、地域、職場等、恩返しできればと切に願うところです。今後ともよろしくお願いします。

◎吉田彰男会員 「私の履歴書」

熊本第一信用金庫玉名支店の吉田と申します。今回、「私の履歴書」で卓話をすることになりました。よろしくお願いします。当玉名支店も開設から 25 年を経過しております。今後も地元地域経済の活性化に尽力してまいりたいと思っておりますので、皆様方には地域密着型金融機関を標傍する信用金庫として尚一層のお引き立てをお願い申し上げます。



私は熊本市新市街で生まれ過ごしました。父は新市街の地で白衣屋を営んでいた祖父の後を継ぎ、今でいうユニフオームを製造販売しておりました。幼少期にはかなり儲っていたようです。熊本市の中心地に店舗をかまえ当時は縫いこさん5名は住み込みだった為、家族 6 名と合わせてにぎやかな環境で育ちました。ただ父は長男である私に後は継がせず、どこかの会社に勤めるように申しておりました。当時は国内産業も順調な時代であり、輸入品が国内シェアを占めるのは稀でしたが、将来は制服等も中国等の輸入品に押されて立ちいかなくなることを予想していたのかもしれません。現実としてこの業界も今や厳しい状況にはなっていると思います。

成長し中学生になると軟式テニスを始めました。その後高校、大学、社会人と硬式テニスをしていました。 現在もテニスは継続しています。仲間が多くできる事やうまくプレーできた時のうれしさはたまりませ ん。錦織圭の試合は必ず見ますし大ファンです。日本人初のグランドスラム優勝を今か今かと待ち望んで います。私の生活にテニスは欠かせないものです。

大学卒業後、私は昭和 61 年 4 月に熊本第一信用金庫へ入庫し今年で 32 年目になります。支店長には 39 歳で昇進し、16 年目です。支店長として玉名支店は、南熊本支店、 大津支店、八代支店、健軍支店 に続く 5 つ目の店舗になります。私が店舗経営をしていく上で重要であると思うのは主に 3 つのことで す。1 つは店舗としての業績を上げること、2 つめは地域の皆様のお役にたつこと、3 つめが仕事をする 職員と共に人間として成長することです。そして仕事をしていく上で最も大切なことは御客様、 又当支 店職員間の人間関係と信頼関係だと思います。当支店の職員は少数ではありますが年代も 20 代から 50 代とバラバラであり、特に若い世代の職員との信頼関係を築くことには苦労しています。なぜならメンタルが弱い若者が増えたように思うからです。しかし彼らにも時には厳しい要求をしなければなりません。私が若かった頃の上司といえばかなり手強く一筋縄でいかない方も多く、顔色をうかがいながら仕事をしたものですが、今は若手の顔色を見ながら仕事をしています。大変だと思うこともありますが、家族を始め様々な人に支えられ頑張っています。若い世代に限らず現代人はストレス耐性が弱くなったと言われますが、ワークライフバランスを重視し人とのつながりを大事にして心すこやかに生活したいものです。

ところで私の心の洗濯法の一つに落語を聞くことがあります。東京に行った際には、上野の鈴本演芸場や新宿末慶亭の寄席にはよく行きますし、熊本に好きな落語家が来たときにも行きます。少し前ですが日本経済新聞の「若い世代に聴かせたい「古典落語」ベスト 10」というもので、その第1位に選ばれていた演目が「百年目」という古典落語です。ご存知の方おられるかとおもいますが内容を少しお話します。

ある大きな店に真面目で仕事もよく出来る大変堅物な大番頭がおりました。日頃、他の手代、丁稚衆はこの大番頭を恐れながら仕事をしていました。しかし実は元来酒好きのこの大番頭、ある日仕事を抜け出して芸者衆を引き連れて花見に興じていたところ、運悪く店の大旦那にバッタリ出くわしてしまいました。日頃堅物で通っていたこの大番頭は面目ないどころか、大旦那から大叱責を受けると思いその日は夜も眠れませんでした。

翌日案の定大旦那から呼び出されて恐る恐る行ってみると、大旦那は次のような話を始めます。一軒の主 (あるじ)を旦那と言うがその訳をご存知か。昔天竺(てんじく)に栴檀と言う立派な木があり、その下 に南縁草という汚い草が茂っていた。目障りだというので南縁草を抜いてしまったら、栴檀の木が枯れて しまった。調べてみると栴檀は南縁草を肥やして、南縁草は栴檀の露で育っていたことが分かった。栴檀

が育つと南縁草も育つ栴檀の「だん」と南縁草の「なん」を取って「だんなん] それが「旦那」になったという。 こじつけだろうが私とお前の仲も栴檀と南縁草だ。店に戻れば今度はお前が栴檀、店の者が南縁草。店の栴檀は元気がいいが南縁草は元気が無い。少しは南縁草にも露を下してやりなさいと話をされたのです。

大番頭は日頃、店の若い番頭や手代や丁稚たちは始末が悪いと叱り飛ばしていましたが、実はかくれて遊 興(ゆうきょう)に興じていて、下の者に「露を下ろす」義務を忘れていたことを、大旦那はぴしりと指 摘するのです。この落語は大旦那と大番頭の関係も栴檀の木ど南縁草の関係と同じ持ちつ持たれつの関係 であり、今大旦那がいるのも大番頭のおかげ、又現場である店においては、大番頭と丁稚たちの関係は、 大旦那と大番頭の関係と等しく持ちつ持たれつの関係である、ことを示唆したものだと思います。

落語が言うように、人間関係が希薄になってきている世の中において、人との信頼関係の大切さ、部下である職員には愛情は持ちつつ、仕事としての厳しさも教えなくてはいけない、そう思います。今回玉名 RC に入会させていただきまして、人との出会い、そして人の輪に感謝し、このご縁を更に育みたいと思っおります。私も何分若輩者でございます。玉名ロータリークラブの皆様の御指導、御鞭捷のもと(落語の中の大番頭のように)成長したいと思っておりますので、今後ともよろしく御願い致します。本日はつたない卓話におつきあい頂き有難うございました。ご清聴ありがとうございました。

